



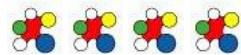
MORICHU NEWS

MORICHU

H20年9月号



新製品のご案内



切断砥石市場への飽くなきチャレンジ！ニューレジストン社より待望の新商品がついに登場です。昨年誕生して一躍陽の目を浴びた、ワセツ型の青いかざ車こと『**△デルカット**』の弟分！**赤い彗星の---かざ車『○シーカット**』！ストレートタイプでの誕生です。(もちろん厚さ1mm) 107x1.0x15

切断砥石の評価は、切れ味・寿命・価格と様々ありますが、まるでY家やM屋の牛丼の如く、早くて・安く・美味しいの三拍子を実現した絶品に仕上がってます。先行期間の間は、NRS会員店のみでの取り扱いです。もちろん、森忠でも用意しておりますので、まずは一度御賞味をお願いします。



あっという間にお盆が過ぎ、気付けば早くも秋の気配を感じるようになってきました。これからいよいよ最盛期へと突入していくのでしょうか？物価高騰・景気低迷といった暗い情勢を払拭するためにも、今はじっとこらえて来るべき時のための準備をしっかりとしておきたいところです。という事で今月号も気を引き締めてお送りします!!

新入社員の紹介 森忠に2名の新しい仲間が増えました！



8/1に入社いたしました **本間卓友** と申します。今回は、紙面をお借りして自己紹介をさせていただきます。「卓友」は、いまでもお会いしてきました方々にきちんと呼んでいた試みはございませんが、「たくゆう」と読みます。どのような意味を込めて名付けられたかは解りませんが、「卓の友」、しっかりと「麻雀」好きに育って、両親も喜んでいることと思えます。(趣味が高じて留年するなど、本当は悲しんでいるかもしれません。)

もうひとつ、忘れてはならない大好きなものは「ゴルフ」です。メジャー大会が開催される週は、じっと布団に包まり朝までテレビを見つめます。(大きい声では言えませんが、その週は仕事になりません。)

最近、飛距離がガクと落ち、体力の衰えを感じていますが、筋力トレーニングよりイメージトレーニングを優先させており、この方針はしばらく変わることが無いと思えます。

遊びのお話ばかりでは怒られますので、そろそろ仕事のお話を。前職は、総務・経理と全く畑の違う仕事をしておりました。一日中机に座り、パソコンとにらめっこをし、「時の流れは何て遅いんだ」と。

現在は、トンチとドライバー←くらいしか知らなかった全くの素人が、ミ単位で何百通りと種類のあるネジとにらめっこをし、訳の分らないまま、あっという間に一日が過ぎております。商品知識など乏しく、お客様や他の社員の方々に教わり、只今勉強中です。お客様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、一生懸命対応させていただきますので、暖かく見守っていただければ幸いです。よろしくお願いたします。

この度、8/21より入社しました **山本昭** です。電材卸を中心に営業をしております。あらゆる工事関係も日々進化しておりますのでよりよい情報を提供できるよう、お客様と共に・共栄しながらがんばっていきたくと思っております。今後共、よろしくお願い致します。



盛光製品のご紹介!!



盛光ブランドの板金ハサミに新商品が加わりました!! トルネードグリップ採用のMORIMITSU・SLDステン シリーズ。柄の部分に切り込みが入っているのでニギりが良く手にフィット感があります。柳刃、たて切、新たて切を取り揃えております。当社にて展示いたしておりますので、試しに一度ニギってみてはいかがでしょうか？

クロームメッキ仕上げ強力カミ 85^{mm}が登場!!力を伝えやすくするために柄が長くなっており、口と喉口が肉厚で丈夫なつくりとなっています。道内ではあまり知られていない商品です。一見の価値ありでは!?



新たて切 270



間口は85^{mm}



トルネードグリップ!!



柄が長い!!

残暑見舞い申し上げます

残暑お見舞い申し上げます。立秋が過ぎたとは言え、連日の猛暑にいささか参っておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。本物の秋が待ち遠しい今日この頃、この新聞を熱心に読んで下さっているとある方面から私(大宮)宛にリクエストが……。そんな訳で残暑も厳しいこの時期、リクエストにお応えして体の芯から冷える(そんなに冷えないかも。)お話をお届けしましょう。(以下に記す内容は全てフィクションでございます。)

私の知人に心霊サークルを運営している人間がいて、彼は少ない休日を縫って北海道ほぼ全域に渡りそういった物件を巡っては潜入捜査・実地検分を行っている兵でして、そんな彼から学生時代に聞いて一度だけ訪れたことがある、とある廃ラホのお話を...

ある町境に位置するそのラホ。札幌から車で30分程に位置するその物件に、私はただならぬ物を感じて内部には潜入できませんでしたが、内部潜入してきた者の話によると営業はすでに80前には終わっており外観の造りや、駐車場に伸び放題の草木から推察するに築50年近くにはならんとする物件。地元はおろか全国の心霊マニアの中にあってもトップクラスのヤバイ物件としてその名を轟かす物件に、以前から不可解で奇妙な物がありました。

この物件に内部潜入を試みる輩の間では広く知られた事実として①2Fの一室に人が寝泊りした跡がある②しかもそれが30年前というより昨日今日の跡のようだ③呑みかけの焼酎があったりする④タコの吸殻がある⑤ともかくにも人の気配がある⑥1F奥のボイラー室になぜかマネキンがぶら下がっている...以上がここに潜入しては実地検分をする者にとって広く知れ渡った事実であり、長年心霊マニアに親しまれた場所でありました。



諸事情により写真の掲載が限られます。ご了承下さい。

世の中訳あってまともな人生を送れない人たちがいます。よく地下鉄大通り公園駅の構内、通称「ペコ前」付近には髭も髪も伸び放題でいつも同じ色のウインドブレーカーを着てじっとただ座ってる人を見かけます。しかも彼は私が学生の頃からあそこにいるような気がします。彼のような人々を見ると冬の間は如何するのか?とか夜は如何するのだろ?とかこの先の末路は?とか、彼らからすると大きなお世話だったりするのでしょうかと考えてしまいます。いつだったか冬の厳しい寒さの中あまりに不憫に思い、驕りだとは解かってはいたのですが温缶コーヒーを、転寝する彼に気づかれないようにそっと差し入れた事があります。彼らのような人たちの存在はどこか現代を生きる我々にも責任があるのではないかと勝手に思えてならない訳で、毎年春になると「ペコ前」の彼は無事に春を越せたのかと心配になるのです。

ある年の春、心霊サークルとは全く無縁の前職の友人と再訪する計画を立てていたそんな矢先。物件の近況を探りにサークル主宰者の知人に電話する「もう入れないよ」「なんで?」「行けば解かるよ」...現地、門には黄色いテープが張られ、テープには「北海道警察」の文字が...サークル主宰者曰く誰もがマネキンと信じて疑わなかった物体は実は、進行の遅い腐乱死体であったことが判明。幾多の潜入者によってその存在を確認されたその遺体は、人生に疲れはて最期にこのラホに行き着いた浮浪者の末路でした。(現在物件は焼失した模様。もう無いとの事です。)



株式会社 **森忠**
 札幌市白石区北郷3条2丁目1-3
 TEL(011)876-1133 FAX(011)876-1144
 URL: www.morichu.jp